



スペースシャトル 毛利氏  
(資料提供 宇宙開発事業団)

ることで基礎代謝量が低下する他、食べ過ぎや運動不足から生活習慣病に陥りやすくなります。過食や運動不足で余ったカロリーは、皮下脂肪や内臓脂肪として体内に蓄積されます。特に内臓脂肪は高脂血症、糖尿病、高血圧を招きます。これが続くと動脈硬化を誘発し、日本人の死亡原因の上位を占める心筋梗塞や脳卒中につながり、後遺症が残る事も多いのです。

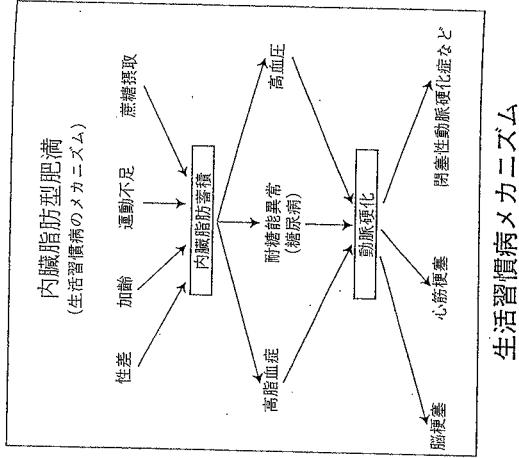
無理のないエアロビクス運動（有酸素運動）としてサイクリングを続けることは、健康を取り戻すことができ、生活習慣病を遠ざけてくれます。健康や美容のためのダイエットが大流行していますが、食欲があるのに食べないのは良くありません。必要な栄養素が不足するだけでなく、リバウンド（反動）による体重増加も生じるからです。

心地よい風が汗を乾かしてくれるので、サイクリングは運動量が大きてもあまり疲れを感じません。一回当たり十五～二十分間を週二～三回、走り疲れが残らない程度に始めましょう。そうすれば体内に蓄積された無駄な脂肪が使われていきます。

がります。一輪の乗り物を乗りこなすことでも、バランス感覚を保ち感覚の老化を防ぐことにもなるのです。

自転車の特徴の一一番目は健康です。

高齢化社会が進行する日本において老後を健やかに過ごしたいといふのは誰もが思うことです。しかし、生活習慣病の予防が一番大事なポイントになると思います。老化にともない筋肉が衰え



日常の生活行動は容易になり、外出が楽しくなります。

三番目は環境保全の優等生としての自転車です。

環境にどれだけやさしいのかをチェックするには（一）二酸化炭素排出量（生産時と使用時）、（二）廃棄物排出量、（三）その他の環境負荷項目（資源の利用量、空素酸化物排出量、水質汚濁物質排出量、化学物質の利用）を調べる他、ライフサイクルアセスメントの手法が有効です。

これは原材料の採取から生産、流通、販売、使用、廃棄まで製品の全ライフサイクルを通して環境への負荷がどの程度なのかを見るものです。

自転車の絶対的に優れている点は軽いことです。人間の体重よりはるかに軽い道具でありながら、人間の持つエネルギーを最大限に有效地に使うことで短い時間で遠くへ移動が可能となることが素晴らしい

らしいのです。

自動車は四～五人乗れますぐ、重を車に一トノとしても四人分の体重よりはるかに重い乗り物を作り、使用する時に排ガスの中に含まれる一酸化炭素とい有害物質を大気中に撒き散らし、しかも廃車にする際には何として出すわけです。もって、自転車がいかに環境にやさしい乗り物であるかはこれ以上説明の必要はないと思います。

しかし、問題もあります。近年の放置自転車問題です。いかに環境保全の優等生の自転車でも安易に使い捨てにする人がいる、製品の寿命を短くする人がおり、それを助長しているのが自転車の安価な販売価格にあります。従来は修理して五年位は使っていたものが、タイヤ交換をすると新車の半分以上のお金がかかるので一年ほどしか使ってないのに乗り換える風潮があるのは大変残念なことです。

この場をお借りして、皆さんにお願いしたいのは御自身で本当に満足できる自転車を買って、長く乗っていてくださいからとあります。長く使ってこそ、自転車を環境にやさしい使い方をしていくと言えるのです。

それでは最近の自転車にはどのようない性能がついているか説明いたします。まずは、車輪の回転からスピーダー

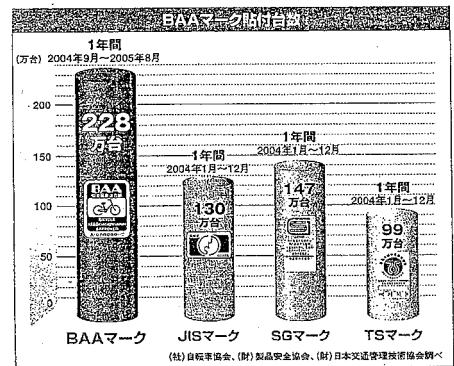
ドを感じし、そのスピードに合った変速を自動的に行う自動変速機があります。まだ暗くなると自動的に点灯し、しかも発電器は前輪の中心に組み込まれていて回転が非常簡単に軽いとさすがにラップも出来ています。

## BAAは自転車のために生まれた制度です

安全な自転車をお届けすること。そのために、BAAマークは自転車安全基準に従って厳しい検査を行っています。

### BAAマークは1年間で約228万台に貼付されています

2004年9月からスタートしたBAAマークは、1年間で約228万台に達しています。下のグラフでも分かる通り、JISやSG、TSなど他のマークが1年間で貼付した台数を超えており、しかも貼付初年度であることからも、自転車業界のBAAマークに寄せられる関心の高さ、そして社会的なニーズの高さをうかがい知ることができます。



(社) 自転車安全協会・(財) 総合安全協会・(財) 日本交通安全技術協会調べ

BAAマーク貼付台数と各2005年当月現在の各会員企業	
◎ナショナル自転車工業株式会社	◎大日産業株式会社
◎ブリヂストンサイクル株式会社	◎ヤマハ発動機株式会社
◎宮田工業株式会社	◎塙野自転車株式会社
◎ホダカ株式会社	◎アサヒサイクル株式会社
◎ヨコタサイクル株式会社	◎株式会社エンドウ商事
◎サイモト自転車株式会社	◎株式会社サイトック
◎東島自転車株式会社	◎株式会社千代鶴商会
◎エビス自転車株式会社	◎株式会社雙龍ジャパン
◎株式会社ハチスカ	◎三洋電機株式会社
◎武田自転車株式会社	◎株式会社丸石サイクル
◎株式会社玉越工業	◎シナン株式会社
◎株式会社サギサカ	◎関西事務株式会社



## BAAマークが必要とされる理由

### 試験テストでは、ほとんどの自転車が不適合でした。

平成16年度に(財)自転車産業振興協会が行った自転車試験テストでは、テスト対象車30銘柄中、フレーム強度やスポーク張力などすべての基準に適合したのは、低価格帯2銘柄、中価格帯1銘柄のみでした。利用者の身体に危険を及ぼす恐れのある以下の表の3項目では、フレームの強度不足が8銘柄、スポークの張力不足が6銘柄、各部の固定力不足が5銘柄、特に低価格帯の折りたたみ車では8銘柄中4銘柄(表中☆印部分)でフレーム強度が不足していました。

平成16年度自転車試験テスト結果					
価格帯	車種	銘柄数	各部の不足		
			フレーム強度不足	スポーク張力不足	各部の固定力不足
低価格帯	シティ車	10	2	1	1
低価格帯	折りたたみ車	8☆	4☆	2	2
中価格帯	MTB類形車	2	0	1	0
中価格帯	小計	20	6	4	3
中価格帯	シティ車	5	1	1	0
中価格帯	折りたたみ車	5	1	1	2
中価格帯	小計	10	2	2	2
合計	合計	30	8	6	5

## 安全を選ぼう。

安全な自転車の目印 BAAマーク



自転車安全基準適合車

## (社)自転車協会

〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-15 TEL:03-3582-1022 FAX:03-3582-1021  
www.baa-bicycle.com

## 反売店の皆さまからよくいただく質問を Q&Aでまとめました。

Q: 「BAA」ってどういう意味？

A: バイシクル アソシエイション(ジャパン) APPROVEDの略称です。  
〔社〕自転車協会認証」という意味です。

Q: 「BAAマーク」の付いた自転車に欠陥があつたらどこが補償するの？

A: 「BAAマーク」の付いた自転車で、製造上の欠陥によって万が一事故が発生したときは、製造または輸入事業者の責任で補償することになります。  
ちなみに、品質保証のなかに「社団法人 自転車協会から利用者の皆様へのお知らせ」として、「BAAマークが貼付された自転車は、安全で長持ちする自転車を目指し、社員法人、自転車協会が定めた自転車安全基準に基づく型式検査に合格した適合車です。万が一製造上の欠陥で事故が発生した場合は、製造・輸入事業者の責任で補償致します。当会は直接利用者の皆様への補償を致すものではありません。」と明記することを義務づけています。

Q: 「BAAマーク」が付いていない自転車も同時に取り扱っているの？

A: 取り扱うことはできますが、安全で長持ちする自転車を供給していくためにも、「BAAマーク」の付いた自転車の販売をおすすめします。

Q: 7分組自転車の取り扱いはどうなるの？

A: 製造または輸入事業者が出荷する前に貼ります。  
JISを完全組立にするのは販売店で、自転車組立整備士7分組を完全組立するのは販売店で、自転車組立整備士または自転車安全整備士の資格をお持ちの方が行います。

Q: 輸入事業者はどこで検査して、誰が「BAAマーク」を貼るの？

A: 型式検査については、日本国内の適合認定機関  
〔(財)日本車両検査協会および(財)自転車産業振興協会技術研究所〕  
で行い、「BAAマーク」は輸入事業者が貼ります。

Q: 撥修部品はどうするの？

A: 撥修部品は、使用されている部品と  
同等以上の（新しい安全基準に準じた）部品をご使用ください。

Q: 「BAAマーク」の対象車種は？

A: 対象車種は下記の7型式です。  
(ただし)アンダーバイク、ロードレーサーなど三輪車などの特殊車は除く)  
①スポーツ車(MTB類形車を除く)、②MTB類形車、  
③シティ車(メインバイクが1本)、④シティ車(メインバイクが2本以上)、  
⑤折りたたみ車、⑥幼児車、⑦その他  
※子供車は、質量によりスポーツ車、MTB類形車(CTBと呼ばれる)、シティ車(メインバイクが1本)、シティ車(メインバイクが2本以上)の型式に区分されます。※2 電動アシスト自転車は、その他の型式に区分されます。※3 原則としてタイヤの種類が700CおよびWの自転車はスポーツ車に、タイヤの種類がHEの自転車はMTB類形車に区分されます。

Q: JISやSGマークとはどう違うの？

A: JISやSGマークは、JISを基準としています。「BAAマーク」は、JISをベースに、粗悪自転車による自転車事故事例等を基に、消費者の安全を第一に考え、安全性の向上と環境保全を目的とした自転車安全基準になっています。